

劇 動物用医薬品 要指示医薬品

マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症
(アジュバント・油性アジュバント加) 不活化ワクチン

 **MSD**
Animal Health

エムパック®



シングルショット？ ダブルショット？
これからは選択の時代です！



販売名	エムパック	製造販売元	株式会社インターベット														
成分及び分量	本製剤 1mL 中 マイコプラズマ・ハイオニューモニエ J 株 19022-001 不活化菌・・・・・・・・・・ 1.47～4.24 単位 (相対力価) 軽質流動パラフィン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.134mL 水酸化アルミニウムゲル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (アルミニウム量として 0.85～1.15mg) オレイン酸ソルビタン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.023mL ポリソルベート 80・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.043mL エタノール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.02mL 濃グリセリン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.05mL チメロサル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.10mg																
用法及び用量	1 週齢以上の子豚に 1mL を 2 週間隔で 2 回、頸部筋肉内に注射する。又は、3 週齢以上の子豚に 2mL を 1 回、頸部筋肉内に注射する。																
効能又は効果	豚のマイコプラズマ性肺炎による肺病変形成の抑制ならびに増体量抑制及び飼料効率低下の軽減																
使用上の注意	<p>【一般的注意】</p> <p>(1)本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。</p> <p>(2)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。</p> <p>(3)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。</p> <p>(4)本剤はと畜場出荷前 4 週間は使用しないこと。</p> <p>(5)ワクチンの接種回数は、農場の汚染状況によって選択すること。農場での汚染が少ないと想定される場合に限って 1 回接種のスケジュールを選択すること。</p> <p>【使用者に対する注意】</p> <p>(1)誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。誤って注射された者は、必要があれば医師の診察を受けること。その際、動物用油性アジュバント加ワクチンを誤って注射されたことを医師に告げるとともに本使用説明書を医師に示すこと。</p> <p>(2)本剤を人の手指に誤って注射した場合、疼痛、腫脹又は浮腫が認められている。</p> <p>本ワクチン成分の特徴</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">微生物名</th> <th colspan="2">抗原</th> <th colspan="2">アジュバント</th> </tr> <tr> <th>人獣共通感染症の当否</th> <th>微生物の生・死</th> <th>有無</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マイコプラズマ・ハイオニューモニエ</td> <td>否</td> <td>死</td> <td>有</td> <td>オイル：軽質流動パラフィン 水酸化アルミニウム</td> </tr> </tbody> </table> <p>本ワクチン株は、不活化されており感染性はない。 本ワクチンに関するお問合せは下記までお願いします。</p> <p>株式会社インターベット 中央研究所 〒300-0134 茨城県かすみがうら市深谷 1103 TEL (029)898-3211 FAX (029)898-3214</p> <p>【豚に対する注意】</p> <p>1 制限事項</p> <p>(1)本剤の投与前には健康状態について検査し、重大な異常(重篤な疾病)を認めた場合は投与しないこと。</p> <p>(2)対象豚が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、投与の適否の判断を慎重に行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱、咳、下痢、重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの。 疾病の治療を継続中のもの又は治癒後間がないもの。 明らかな栄養障害があるもの。 <p>(3)本剤の投与後、激しい運動は避けること。</p> <p>2 副反応</p> <p>(1)本剤投与後、一過性の体温上昇や投与部位に腫脹、硬結が認められる場合がある。特に、国内の安全性試験では、2mL の 1 回接種において、投与後 4 時間で 0.2～0.8℃の体温上昇が認められた(5 頭中 5 頭)。</p> <p>(2)国内の安全性試験の常用量群(1mL/ 頭)において、第 2 回注射後 1 日に、一過性で軽度の元気消失が 5 頭中 1 頭のみに認められた。</p> <p>【取扱い上の注意】</p> <p>(1)外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。</p> <p>(2)使用期限が過ぎたものは使用しないこと。</p> <p>(3)一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。</p> <p>(4)使用時よく振り混ぜて均一とすること。</p> <p>(5)開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。</p> <p>(6)使い残りのワクチンは紙等で吸い取り可燃物として処分し、また、容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。</p> <p>(7)使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。</p> <p>【保管上の注意】</p> <p>(1)小児の手の届かないところに保管すること。</p> <p>(2)直射日光、加温及び凍結は品質に影響を与えるので、避けること。</p> <p>3 相互作用</p> <p>(1)本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。</p> <p>(2)本剤と他のワクチンとの同時注射に関する情報はなため、本剤注射前後の 2 週間は他のワクチンを注射しないことが望ましい。</p> <p>4 適用上の注意</p> <p>(1)注射部位を厳守すること。</p> <p>(2)2 回目の注射は異なる頸部の側面に行うこと。</p> <p>(3)注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。</p> <p>(4)注射器具(注射針)は原則として 1 頭ごとに切り替えること。</p> <p>(5)注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。</p> <p>(6)ワクチン容器のゴム栓は消毒し、無菌的に取扱うこと。</p> <p>(7)移行抗体価の高い個体に 1 回接種をおこなう場合、血清抗体価の上昇が認められないことがある。</p>			微生物名	抗原		アジュバント		人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類	マイコプラズマ・ハイオニューモニエ	否	死	有	オイル：軽質流動パラフィン 水酸化アルミニウム
	微生物名	抗原			アジュバント												
人獣共通感染症の当否		微生物の生・死	有無	種類													
マイコプラズマ・ハイオニューモニエ	否	死	有	オイル：軽質流動パラフィン 水酸化アルミニウム													
貯法	2～10℃																
包装	50mL(25～50 頭分)																
有効期間	製造後 38 か月間																

製造販売元：株式会社インターベット

連絡先：キャトル&スワイン事業部

東京都千代田区九段北1-13-12 〒102-8667
TEL：03-6272-0770 FAX：03-6238-9080

